

熊野三山奥の院

おおすぎ

# 玉置之巨杉

第三号



発行 玉置神社  
令和2年1月吉日  
電話 0746-64-0500  
FAX 0746-64-0429  
〒647-1582  
奈良県吉野郡

十津川村玉置川

## 祭典のご案内

祈年祭二月十七日 三柱神社初午祭(例祭)三月四日

出雲大社玉置教会春季祖霊祭三月春分の日 白山社例祭五月六日

玉石社例祭五月十三日 出雲大社玉置教会例祭五月十四日

## 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和の御代になりました。早二年目になりますが、世界におきましては、まだ争いが絶えません。日本におきましても隣国の韓国等とあまり良い関係ではありません。本当に世界の皆様が平和に生活できますように、玉置の大神のご加護がありますよう心からお祈りするばかりです。

さて、新しい年を迎えまして、玉置神社の今後の取り組み等について、皆様にご報告したいと存じます。



昨年の四月頃より、神社の社殿等の現状を調査していただきました。調査の結果、社殿の殆どは朽ちてきており、また、雨漏りもしております。良いところは一つもありません。一刻も早く修理修繕・建替等に取りかかつていかなければなりません。

そのため、我々は、本年一月一日より、奉賛金を募る「令和の大改修」を立ち上げました。氏子総代会の了承も、また、村長にもその旨報告済みであります。

そして、まず神武社・若宮社の大規模修繕、次に本殿屋根等の大改修を考えています。既にこれらの設計図・見積案は出来ており、村から補助金が交付されれば、直ちに着工できます。それと並行して、トイレの新設も考

えています。いろいろ検討した結果、浄化槽を置くことは非常に難しいのでパイオトイレを考えています。これも本年中には完成したいと考えております。

また、国の重要文化財であります、社務所・石垣の改修も県の文化財保存課が動き始めてくれました。多分数年後には、大改修工事が始まると思います。この社務所・石垣の工事期間は約六年、費用は十二億という見積です。その他に、出雲社、神輿殿の建替えもしなければなりません。多分、十年後には新しい玉置神社ができあがっていると思

います。そのため、我々職員一同・責任役員氏子総代は、「令和の大改修」のもと一致団結して、全身全霊大改修に取り組んでいく所存であります。



玉置神社は、十津川村の郷社であり、世界遺産としての村の文化財でもあります。皆様のものでもあります。十津川村で世界に誇れる唯一の財産でございます。数千年以上に亘り、十津川村民並びに崇敬者の方々が守つてきてくれました。神社でございます。我々に課された責務であり義務でもあります。

しかし、我々だけで守ることができません。みなさまのご支援ご協力が必要でございます。今後とも末永く玉置神社のことよろしく願っています。

お願いばかりになってしまい、誠に申し訳ありません。令和の御代の皆様

方のご発展ご活躍ご健勝を心よりお祈りいたします。

本年も引き続き玉置神社のこと、よろしく願っています。  
宮司代務者 舛谷武

## 御本社例祭十月二十四日(木)

約七百名の皆様に御参列頂き、氏子総代会の主催のもと例祭を斎行致しました。

舛谷武宮司代務者の挨拶では、「令和の大改修」として本殿などの修繕として、来年から奉賛金の募集を行うことを発表しました。

あいにくの雨の中、神輿は、本殿の横を練り歩きました。神子の神楽の奉仕・池上真由美(歌手)さんの歌謡ショーの奉納などがありました。

ぜんざいは、二七〇杯ほど振る舞われました。

ご来場頂きました招待者の皆様、参拝者の皆様には、心から感謝申し上げます。



## 夏越の大祓に参加して

令和元年六月三十日、初めて玉置神社に参拝させていただきました。

自宅を出た頃は曇り空でしたが、到着した時は、雨風の強い大荒れの天気になっていました。

熊野・大峯修験の行場の一つとされた山道を雨に濡れながら歩き、御本殿が見えた時は、無事に到着出来たことに安堵しました。どうやら駐車場を間違えていたようでしたが、大変貴重な経験となりました。

神恩感謝のご祈祷と夏越大祓に参列し、半年の罪穢れを払う大祓いをお受けして、下半期に向かつての活力をいただきました。

御本殿や境内の樹齢三千年の神代杉・夫婦杉など、神社全体が、神聖なお力に満ちており、荒々しくも優しいエネルギーを注いでくださるようでした。

玉置神社の参拝を通じ、日本の歴史を感じ、日本人としての誇りを持つ方が増えることを願い、また伺えることを楽しみに日々精進してまいります。  
愛知県西尾市 山本道代



## 一の鳥居竣功清祓式 五月九日(木)

鳥居を奉納した村  
森林組合関係者他約  
三十人が参列するな  
か、竣功清祓式を齋  
行しました。

神事後、榑本正  
文・村森林組合長は  
「参詣の道は山仕事の  
道でもある。鳥居の再  
建を出発点に、古道を

再整備して観光振興にもつなげたい」と語りました。



## 奉納・和太鼓演奏 六月九日(日)

海外でも評価の高い和太鼓奏者・神奈川馬匠さんの、  
奉納演奏が行われました。

腹の底に響き渡  
る勇壮な和太鼓の  
響きに、参拝者の方  
も暫し足を止めて  
聞き入っていました。



## 一の鳥居に思う

玉置神社「一の鳥居」が再建され、五月九日、竣功清  
祓式が現場で執り行われました。

一の鳥居は、玉置神社の表参道にあたる熊野街道  
(玉置街道)の、十津川村大字竹筒と玉置川間の尾根  
筋上に位置し、国土地理院地図に「玉置神社鳥居」と  
して記載されています。神社本殿への直線距離は約四キ  
ロ、街道を歩くと三時間弱、鳥居をくぐると玉置山を望  
むことができ、玉置川集落を含むその内側は神域とみな  
されています。

鳥居は長い間放置され崩れ落ちて片柱を残すのみと  
なっていました。三年前に熊野街道に並走するルートで森林作業道が開設され、現場の工  
事に関わった十津川村森林組合が再建寄進したものです。神社総代、地区総代をはじめ、  
忘れられた玉置街道を紹介した「誰も知らない熊野の遺産」(ちくま新書)の著者、梅嶺レ  
イ氏も参列し再建を祝いました。



熊野街道は、紀伊半島に上陸した即位前の  
神武天皇が玉置神社玉石社で戦勝を祈願し  
たという言い伝えからすると「神武ロマンの道」  
とも言い得る古道です。「玉置古道」と呼べる  
参詣道は他にもあり、今後歩く会の開催や整  
備改修のプロジェクトを計画しています。

「奥熊野・玉置の世界遺産を守る会」

代表 原 秀雄(玉置川在住)



## 大日堂社例祭 八月八日(木)

多くの御参列を頂き、大日堂社例祭を斎行致しました。祭典に続き、山学道道主・立石光正さんと修験者のみなさんによる、採燈護摩が行われ、大いに賑いました。

## 出雲大社教玉置教会秋季祖霊祭

九月二十二日(火)午前十時より、責任役員・氏子総代の参列する中、祖霊祭を斎行しました。明治二十年に出雲大社教御分霊を(十津川村民俗資料館所蔵「大社教雑誌」第壹号によれば)全国で最初に遷座したのが玉置教会です。現在、約五千柱の霊璽が祀られています。明治四年に全村神葬祭に改め同十九年に出雲教会の加入の入会式を行っています。

## 献湯祭・注連縄奉納 十月十六日(水)

十津川村観光協会の皆さんによる十津川温泉湯泉地温泉・神湯温泉の献湯並びに、注連縄の奉納が行われました。御本殿・神代杉・夫婦杉・大杉・磐余杉・常立杉へと注連縄が装いも新たに奉納されました。注連縄の製作は、九月十日に十津川産の材料を使って、十津川観光協会の皆さんの手作りで行われました。危険と隣り合わせの作業に只ひたすら感謝申し上げます。

## 即位礼・大嘗祭当日神社に於て行ふ祭祀並臨時大祓

天皇陛下の即位礼並びに大嘗祭に合わせて、本社でも謹んで神明奉仕の誠を致し「即位礼当日神社に於て行ふ祭祀」を十月二十二日(火)に、「臨時大祓」を十一月十二日(火)に、「大嘗祭当日神社に於て行ふ祭祀」を十一月十四日(木)に、厳肅に執行いたしました。令和の御代の大業を恢弘遊ばされる大御心を体し、謹んで大御代の弥栄を御祈念申し上げます。



## 「大日堂と私」

山伏には己の信仰する山があつて、私にとつてそれが玉置山になります。十津川村で林業をしていたこと、毎年修験道の祭に参加していたことなど多くの縁が重なり信仰心を増していきました。「大日堂と私」を語る時、狐の話抜きにしては語れません。私をこの修験の道に導いてくれた重要な著書に中沢新一の「悪党的思考」があります。この本の中で取り上げられているのが黄色い狐の王、又の名を茶枳尼天ダキニテン。このダキニテンは元はインドの神でした。それが日本に来ると穀物神の使いとされる狐と神仏習合し、狐の背中に乗り、稲を荷なう御稻荷さんになりました。

この稻荷社のルーツと言われるのが、ここ玉置神社境内にある三柱神社なのです。ゆえに古来より山伏達は大地の自然力を身につけようと玉置山に登りました。そして現代、私達山伏は皆様から預かった護摩木を焚くことを通して、大地につながつて頂くお手伝いをさせて頂いております。



本宮のそば屋

中根 円峯

## 山之神神恩感謝祭十二月六日(金)

午前十時より、山林業務に携る方々の参列の下、山之神神恩感謝祭を斎行しました。十津川村は、山の恵みと驚異に溢れ、多くの家庭でも山之神を祀っています。この日は、御祭神に感謝と安寧の祈りを捧げました。

## 煤払神事十二月二十五日(水)

新年を迎えるにあたり、御本殿の煤払い神事を執り行いました。一年の御神徳に感謝し、切り出したばかりの笹や用具・職員の祓を行い、ご本殿に上り天井や御殿の煤を払いました。

## 年末年始行事

### 「年越の大祓式・除夜祭」「歳旦祭」「元始祭」

十二月三十一日午後三時より「年越の大祓式」。引き続き、一年間の神様の恵みに感謝を捧げ、来る年の安全を祈る「除夜祭」。深夜零時、新年の始まりと共に「新春一番太鼓」が打たれました。響き渡る音によつて悪疫退散を願い、一人一回順番に一〇八回打ち鳴らしました。参加者には絵馬が贈られました。

元日朝七時、年頭の祭儀「歳旦祭」を斎行しました。宮司が新しい年の訪れを寿ぎ、皇室の弥栄と国家の隆昌、世界の平和を、さらに良い年となるよう祝詞を奏上。神楽殿において、玉置神社独自の神子<sup>みこ</sup>が優雅に舞う「弓神楽」が奉納されました。社務所付近では、名物「ぜんざい」が振る舞われ、大勢の参拝者の皆様に喜んで頂くことができました。

三日には、「元始祭」。皇位の天地とともに窮まりないことをお祈り申し上げます。

ご参拝の皆様、有り難うございました。

## 安産祈願

七月十五日の夕刻、赤ちゃんを身ごもつて参拝されたのは、アズライノアさんでした。イスラエルの方です。赤ちゃんが成長し無事出産することを願つて、玉置神社を訪れたものです。大神様の御守護の有らんことをお願いしました。



This place is very magical and I could feel it on the way the car.

I feel very lucky and thankful to be able to visit and experience the spiritual energy of the place and mother nature that is very much present in here. Thank you.

Azouly Noa ISRAEL ☆

玉置神社の大変厳肅な感じは、途中の車の中からも感じていました。いま私は、とても幸福であり感謝もしています。それは、玉置神社にたくさんある母なる自然と、玉置神社の神聖なお力を感じることができたからです。ありがとうございました。

アズライ=ノア イスラエルより

## 正式参拝について

最近社頭にて、ジーンズ(デニム)、Tシャツ(襟の無い服)、ジャージなどの軽装で『正式参拝』を申し込まれる方がおいでになります。

ある参拝者にうかがうと、

「インターネットで、ジーパンでも正式参拝出来たと書き込まれていた。」

とのことでした。それで調べてみたら、画像をアップされていた方は、「正式参拝」ではなく、服装が自由な「ご祈祷」と取り違えていたことがわかりました。

せつかく、遠路山道をはるばるとお越しになつた方をお断りするのには心苦しい限りです。また、断られた方はその何倍も残念な思いをされるに違いありません。

『正式参拝』は、文字通り「正式」な「参拝」であり、心も服装も引き締まった姿で、御本殿に上り、自分自身の心から誠心誠意、神恩感謝を伝える有難くも崇高な儀式であります。

神様に可能な限り近づくのですから、神様に恥ずかしくない服装でなければならぬとしているのは、当社だけではありません。

是非ご理解頂きますようお願い申しあげます。

「ご祈祷」につきましては、自由な服装でおいでいただければ可能であることも申し添えます。



## 大峰奥駈道で玉置神社へ

令和元年八月十一日(日)前鬼子中坊を出発してから三日目の八月十三日(火)、台風十号が近づく中、私たちは玉置神社に向けて一步一步、奥駈道を続けていました。ようやく玉置山山頂へ到着しました。山頂からの景色は、台風の厚い雲で何も見えなかつたのですが、辿り着けたことに安堵し、体も軽くなつたような気がしました。玉置神社社務所で受付をして、参籠所に入らせていただきました。十四年前、初めて奥駈をした際には、熊野本宮からの順峯ルートで、玉置神社を足早に通り返してしまつた為、「いつか玉置神社に参拝し、参籠所に泊まらせていただきたい」という願いが、ようやく叶いました。

この日当直されていた神職の方から、朝拝の時刻をお伺いし、翌朝、神聖な空気の中、朝拝に参列させていただきました。参列している私たちの前を通り過ぎた一陣の強い風に神様からのメッセージを感じることができました。

その後、十津川温泉までの道のりでは、玉置神社の神様のご加護をいただいたことに感謝の気持ちで一杯になりました。

またいつの日か、奥駈道で玉置神社に参拝させていただきます。

東京都在住

飯塚 陽子



# 奉職二年目です

一昨年十二月より、奉職させて頂いております。両親ともに十津川人で、父親は村役場の職員でした。息子の自分だけが新宮生まれの新宮育ち、とはいささか複雑な家庭にも聞こえますが、往時は筏(いかだ)を十津川水系に流して熊野川河口に送っていたため、十津川村役場の出張所が新宮に在ったことでご理解頂きましょう。

今現在、唯一の和歌山県海側からの玉置神社奉職者です。だから少し、いやかなりの寒がりです。スタッドレスタイヤを買ったのも生まれて初めてです。玉置山の凍った斜面を車で走り、ズルリと滑ることも初めての体験で、あれは生きた心地がしませんでした。

三十歳台の初め、新宮市の公務員でありながら、「いつかは玉置神社で人の話を聞ける神職になりたい。」と周囲に話していたことが現実になり、今更ながら驚いています。二年間通った皇學館大学(学部四十五期)の自分の息子よりずっと年下の同窓生のSNSでの(生意気な?)激励メールを糧とし、先祖伝来の郷社で神明奉仕に誠心誠意努めさせていただき所存です。



遺伝子は嘘をつけないもので、仕事開始から三か月経過した頃、新宮に帰っても十津川弁が抜けないのに気づきました。ご参拝の方々には、時々新宮言葉交じりの神職が居る、と思われるかも知れませんが  
「マア、こらえたらつてくれエらよー」  
気楽に話し掛けさせて頂きますので、未永くお付き合ひ賜りますようお願い申し上げます。

前岡 克弥

# 社務日誌より

- 5.3 金 名張市大三輪神徳会会主凍田智栄 子氏一行玉石社清掃奉仕
- 5.6 月 白山社例祭
- 5.9 木 一の鳥居峻功清祓式約30名参列
- 5.13 月 玉石社例祭
- 5.14 火 出雲大社教玉置教会例祭
- 5.24 金 片岡八郎公慰霊祭(花折塚)
- 5.27 月 御旅所御神木(風倒木)へり搬送
- 6.9 日 奉納太鼓演奏神奈川馬匠氏
- 6.9 日 天台寺宗門代表福家紀明氏他10名 参籠
- 6.13 木 石楠花花殻摘み19名
- 6.13 木 十津川第一小学校3年児童7名校外学習
- 6.20 木 三重歴史研究会20名参拝
- 6.20 木 毘沙門院29名正式参拝
- 6.25 火 教育委員会との定例会(第一回)
- 6.28 金 源泉掛け流し温泉協会17名参拝
- 6.30 日 夏越大祓
- 7.7 日 大高真澄会15名正式参拝
- 7.7 日 読売テレビ「ダウンタウンDX」原田龍二来社撮影
- 7.8 月 元国会議員玉置公良氏他14名正式参拝
- 7.25 木 新十津川町児童生徒27名校外学習
- 8.2 金 教育委員会との定例会(第二回)
- 8.3 土 参籠朝拝体験9名参加
- 8.8 木 大日堂社例祭
- 8.20 火 新十津川町長熊田義信氏他6名正式参拝
- 8.24 土 参籠朝拝体験10名参加
- 8.25 日 舩谷宮司代務者出雲大社教布教師養成講習会受講(於出雲大社) 31日まで
- 8.27 火 東京大学体験活動プログラム一行17名襖絵参観
- 9.6 金 十津川中学校1年生徒12名校外学習
- 9.7 土 参籠朝拝体験9名参加
- 9.16 月 村教育委員会村史編纂ドローン撮影3名来社
- 9.24 火 松平墓所彼岸慰霊祭
- 9.29 日 掌典職塚公長他7名参拝
- 9.30 月 舩谷宮司代務者神谷彌宜十津川村村長と面談
- 10.2 水 教育委員会との定例会(第三回)
- 10.7 月 舩谷宮司代務者東京郷友会会長東武氏と面談
- 10.10 木 熊野光の舞Ami氏他5名舞奉納(神楽殿)
- 10.16 水 献湯祭注連縄奉納(十津川村観光協会)
- 10.22 火 即位礼当日神社に於いて行う祭祀
- 10.23 水 宵宮祭
- 10.24 木 本社例祭(約70名参列)
- 11.5 火 写経の友橋 神原タカ子代表他25名正式参拝
- 11.11 月 消防訓練実施(五條消防署以下21名引き続き職員のみ消火訓練)
- 11.12 火 臨時大祓式
- 11.15 金 大嘗祭当日祭
- 11.20 水 玉置山巨杉群防災施設一斉点検(役場総務課以下14名)
- 11.28 木 初雪
- 11.29 金 初氷

# 編集後記

玉置の巨杉も一周年を迎えました。今年、令和の大

改修等氏子崇敬者の皆様にご協力をお願いする年になりました。今年、令和の大発行予定は、五月です。ご寄稿お待ちしております。編集担当小川文男

# 奉賛者一覽

敬称略

(令和元年5月1日、10月末日)

青木美恵、秋葉捷、秋山吉正、安黒千景、阿部喜代美、安藤秀俊、飯田喜美男、生野知雲、池上真由美、池口敦子、池尻ゆみ代、池田未央、井崎豊宏、石井綾乃、石古貴士、石田裕美子、石塚雅美、石戸谷俊介、石鍋元章、石橋、泉道夫、市居清善、市川一枝、市口哲也、一柳茂、伊塚光愛、伊藤正和、伊名結海、稲津雅弘、犬飼山轉法輪寺、入谷美紀、岩口利夫、岩崎栄作、上田陽一、植西茂隆、上野徳順、上之泰亮、植平普善、上向英弥、氏家珠実、宇陀裕弘、打田幸一、内野澤真寿、梅田裕、榮林繁、NKGインフオテック(株)、五びす荘、大井史朗、大内悠芳貴、大久保崇雄、大熊力、大駕由紀、大高真澄会、大谷岩朗、大手信也、大野幸正、大橋正代、大平直見、大村恵美子、大村太郎、岡一郎、岡修、岡みずほ、岡やす子、岡崎宗子、岡島秀典、岡田喜久男、岡本安代、荻峰子、奥田世津子、長村皓毅、尾嶋忠昭、小瀧螺雲、尾畑幸子、(株)インターブラックスネット(株)川合組、(株)救援、(株)ケイツイーネットワーク(株)さくら、(株)ソビエル(株)田野上組、(株)統建、(株)原商会、(株)民俗工芸(株)和幸工業、(株)和昇、海部剛史、笠松俊夫、笠松幸子、片岡八郎公顕彰会、片山敏也、加藤大啓、金川淳子、金森かおる、加納昌代、紙上和子、上岡颯力店、上下興業(有)、神谷江里、栢木健吾、香山洋子、栢澤秀仁、荻田吉夫外、假家英明、川口恵美子、川寄喜代美、川崎浩、川嶋慈代、川島実、川並俊久、川向勇一郎、菊川満雄、菊池朝子、岸中雅之、岸本江津子、岸本圭司、岸本瑠治、木田佐知、木田幸夫、北見武男、北脇みずき、城戸、木野健司、木村澄江、清水将義、近畿電気(株)、工藤和浩、工藤よし江、功刀雅人、久保田守雄、熊谷誠二、熊倉時枝、倉本重枝、倉本均、栗栖晃生、栗栖規、栗野兼信、栗原秀利、栗原美幸、栗本明彦、栗本香、黒田将由、桑平和実、高坂佳輝、小坂井晃子、小崎信應、小嶋玲子、小西規夫、小林環、小林理恵子、米田憲司、近藤守弘、材津裕治郎、斎藤明、齋藤朋子、齋藤文夫、佐伯英樹、蔵王寺立華院、酒井ミサ子、阪本尚生、阪本寛文、坂元美知代、佐久間美津子、櫻井哲雄、桜井直子、桜井佳由、佐古金一、佐々木貴子、定村秀洋、佐藤雄喜、里村光順、澤田里美、澤田節子、山東美晴、椎原雅美、塩路鐵砲水、塩見直也、柴沢晃、地引知子、島鉦博、嶋田聰、島村佳宏、清水正子、下園義人、下野尻貴史、下村守、写経の友橋、白尾忠人、新天俊勝、新十津川町母村訪問団、神保貴生、菅野千寿、須川輝一、杉健二、杉原あき、杉山妙蓮、鈴木直子、鈴木美枝子、榑鈴工、寒川展至、相馬一、曾我部宗大、大地克己、大日會、平百合香、ダイワ鉄工所、田上裕弘、高井愛子、高草俊和、高島國康、高嶋晋一郎、高瀬良滋、高橋素玲、高橋まゆみ、高松光浩、竹田久美子、竹田信幸、田嶋久登志、辰己香織、田中孝重、田中達輝、田中久喜、田中佑昌、田中学、田中幹朗、田中光枝、田中稔、田中美和、谷由美子、谷井康人、谷口さくみ、谷向安司、谷脇雅文、田花操、田花館、玉置一男、玉置一朗、玉置修、玉置勝也、玉置公良、玉置行祐、玉置公三、玉置眞壽夫、玉置順一、玉置倬生、玉置達美、玉置秀男、玉置博子、玉置裕也、玉置正史、玉置正澄、玉置衛、玉置美和、玉置由美子、玉置佳睦、田本きみ、田留見桂子、千葉榮勝、津川純一、辻村啓之、津田明季、土屋直明、土山友理香、苞山吉成、手嶋孔紀、手島謙、寺前幸一、天台寺門宗総務本所、土井正勝、東南院、東南院奥駈会、時本哲夫

戸塚隆宏、戸塚葉子、十津川村観光協会、十津川村民宿組合、十津川村旅館ホテル組合、土肥典子、富安史香、知岫芙瑠弥、豊田浩司、瀬郵便局、内藤亜紀子、中精一、中昌永、中井良子、中井川昌隆、中上食料品店、中川荘二、中川雅貴、長崎良成、中島典子、中島美子、永田千鳥、中田英之、永田雅博、中田美恵、中谷益彦、仲辻清行、中西正枝、長野初江、長野秀紀、長野修裕、中林耕三、永廣彰久、中間暁星、中村育妙、中村三津男、中村みゆき、七区懇話会、名測敬、奈良モリシタ齒科、成田あきつ、南都銀行十津川支店、新倉和子、西良恵、西浦章蓮、西岡常晴、西澤美樹、西田啓路、西田みる子、西中紀代美、西村正明、西村貢、温井利一、念法眞教十津川念法寺、念法眞教総本山金剛寺、野久保三記子、則本隆、萩原伊紀子、橋本薫、橋本吉巧、橋本和香、長谷川豊隆、畑中俊広、初井政澄、花井利博、花岡光蓮、馬場憲彦、濱田宏弥、林雅雄、林祐司、原秀雄、原田紋寿、原田慶一、原田恵子、原田圭司、原田良雄、東信介、東勉、氷川千津、樋口恭巨、昆沙門院剛史、昆沙門院一同、飛彈誠、樋上孝教、平野博之、深澤太郎、福村勝代、福屋利休、藤井楓、藤井泰三、藤澤史子、藤澤豊、藤田早苗、藤田裕次、藤田幸恵、藤之本一海、藤林修峰、藤牧経乘、藤本和子、藤本宏、文岡正行、古谷温子、ホテル昂、堀内和夫、堀尾章五、本多勝彦、本田宗治、本間ナヲ工、前田恵子、前田昇、前田晴美、前田正伸、時田みどり、時田佳輝、舛谷リヂア、増水一人、待田成人、松井英樹、松井雅代、松井道一、松岡咲樹、松岡敏郎、松下玄、松田幾久美、松田香、松谷美穂、松葉進、松葉直美、松原通雄、松原ゆかり、松實豊繁、松村哲、松本悦子、松本一樹、松本恵吉、松本耕一、松本毅、松本文江、丸山昌三、満願寺、みえ歴史研究会、三木康弘、水嶋啓一、溝手直幸、三石学、三橋茂代、光本文夫、皆川直久、南谷孝光、南武雄、南聡将、南谷臣昭、峯廻寛、宮川直子、宮崎孝子、宮崎稔章、宮田賢司、宮田豊、宮地愛実、宮本かおり、宮本善弘、三吉友里子、民宿松乃家、向峯周和、向川静隆、むさし旅館、村井陽子、村田和正、本宮順子、森靖子、森多美子、茂里幸、森泰幸、森崎隆夫、森地久治、安田馨、穂架技羽音、柳田由治、柳瀬工務店、矢松勝治、山口正、山口正春、山崎耕一、山崎誠、山田祥、山田雅子、山地安紀子、山中富士夫、山本一隆、山本和美、山本啓造、山本武次、山本礼志、八幡智子、(有)力エテ工業、(有)グリーン工業、(有)雑賀組、(有)中谷工務店、結城桂、湯川茂代、雪田和人、湯田美絵、由良真、横山いつみ、吉田耕造、吉田理、吉田千里、吉田恒俊、吉田浩敏、六田浩之、若林健治、脇順如、鷺須晴信、鷺須晴徳、渡邊謙次、渡辺知典、渡辺華恵、(令和元年11月以降は次号に掲載します)

## 令和の大改修の奉賛金を

### お願いしています。

下のQRコードからお入り頂きますと、ご案内が出て参ります。

